

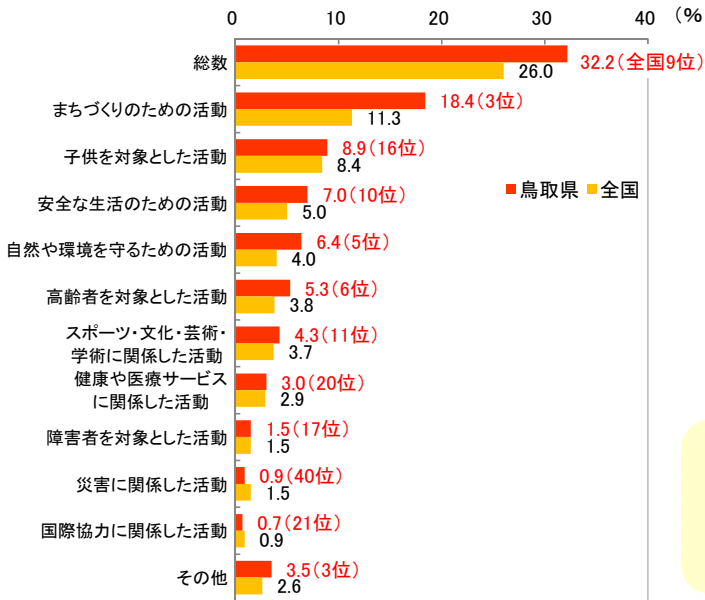
平成28年社会生活基本調査でみる鳥取県

～生活行動に関する結果から～

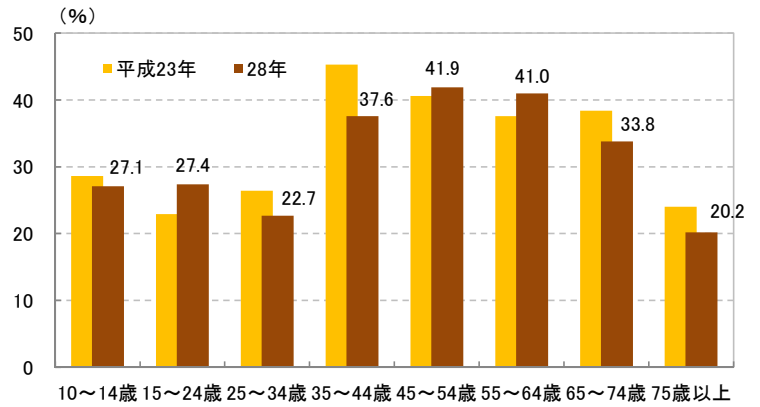
社会生活基本調査は、生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、社会生活の実態を明らかにするもので、5年ごとに行われています。

平成28年調査は、全国の約8万8千世帯に居住する約20万人、鳥取県では約1,500世帯に居住する10歳以上の世帯員を対象に、平成28年10月20日現在で実施されました。

「ボランティア活動」の種類別行動者率



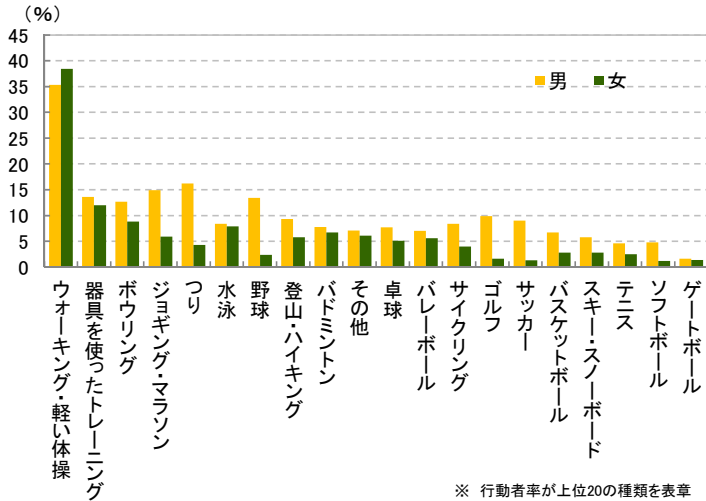
「ボランティア活動」の年齢別行動者率（平成23、28年）



過去1年間に「ボランティア活動」を行った人の割合は32.2%で全国で9位となっています。行動者率を種類別に全国と比較すると、「まちづくりのための活動」、「自然や環境を守るための活動」、「高齢者を対象とした活動」、「安全な生活のための活動」で順位が高くなっています。

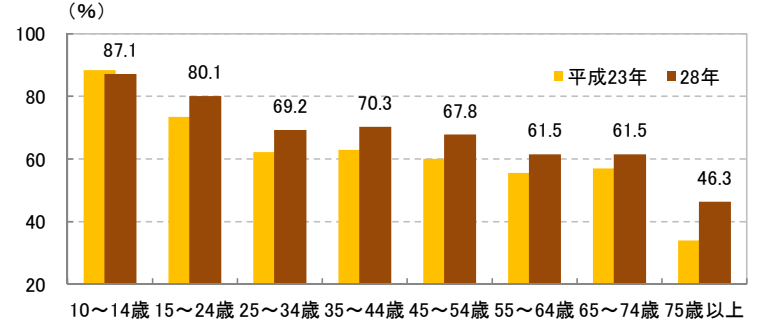
年齢別にみると、最も高かったのは「45～54歳」の41.9%となっています。

「スポーツ」の男女別行動者率



※ 行動者率が上位20の種類を表章

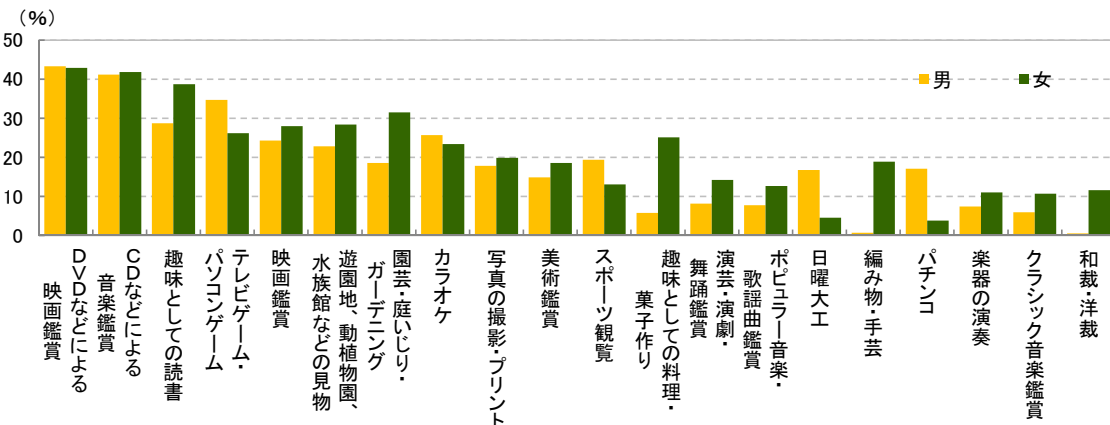
「スポーツ」の年齢別行動者率（平成23、28年）



男女ともに行動者率が最も高いものは、「ウォーキング・軽い体操」で、女性が38.4%、男性が35.3%となっています。次いで、男性が「つり」、女性が「器具を使ったトレーニング」となっています。

年齢別の結果をみると、平成28年は「10～14歳」で低下しましたが、その他の年齢については上昇し、特に「75歳以上」では大きく上昇しています。

「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率



男女ともに行動者率が最も高いのが「DVDなどによる映画鑑賞」で、男性が43.3%、女性が42.9%となっています。次いで「CDなどによる音楽鑑賞」となっており、続いて、男性が「テレビゲーム・パソコンゲーム」、女性が「趣味としての読書」となっています。

※ 行動者率が上位20の種類を表章